

図書館より

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。そして、在校生のみなさん、進級おめでとうございます。

桜咲く四月は出会いの季節。新しい友だち、新しい先生との出会いがみなさんを成長させてくれることでしょう。図書館の本たちもみなさんとの新しい出会いを楽しみにしています。学校が再開されたら、ぜひ、図書館に足を運び、初めの1ページをめくってみてください。きっとあなたをワクワクドキドキさせる、新しい世界が広がるでしょう。魅力的な本との出会いは、みなさんの世界を広げる助けになります。今年度も本とみなさんとを結び場所として、学校図書館をより充実したものにしていきたいと思っています。

以下、本校図書

館の利用についてお知らせします。利用方法をよく知って、より有効に活用しましょう。



本校図書館の概要

○閲覧室 定員90名

○蔵書形式 開架式

(自由に閲覧できます)

○収蔵資料

・図書 約三五、〇〇〇冊

・購読雑誌

『バンドジャーナル』

『芸術新潮』

『墨』

『ナショナルジオグラフィック』

『子供の科学』

『ニートン』など

『ニュースがわかる』

『栄養と料理』

・購読新聞

『愛媛新聞』

『朝日新聞』

『毎日新聞』

『朝日中高生新聞』

『ザ・ジャパン・ニュース』など

・その他

集団読書用テキスト90種



利用方法

○開館日・開館時間

通常の登校日。

8時30分～16時50分まで。

長期休業中は別に定めます。

○貸出・返却の仕方

貸出方法

借りたい図書をカウンターに提示し、学年・クラス・番号・氏名を申し出てください。

一人四冊まで、一週間以内に返却すること。

返却方法

返却する図書をカウンターに持ってきて返却する旨を伝えてください。

○リクエスト・予約

カウンターにある所定の用紙に記入し、提出してください。

○レファレンスサービス

本や情報を探すお手伝いをします。

館内資料の検索や調べ方の方法など、アドバイスします。

利用マナー

○図書館では大声で話したり、走ったりしない。

○館内は飲食禁止。

○鞆やバッグは荷物置き場に置きましょう。脱いだ靴もそろえましょう。

○本は大切に扱います。

○利用した本は元あった所定の場所へ。

○退館時はいすを片付けて、消しゴムカスは机上のカス入れへ。

○挨拶をしましょう。

「子ども読書の日」について

4月23日は「子ども読書の日」です。「子ども読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月5日公布・施行)第10条3項により定められた日です。

なぜ4月23日が選ばれたのでしょうか? 4月23日は「世界 本の日」であり、「サン・ジョルディの日」でもあります。「世界 本の日」は、1995年ユネスコ総会(パリ)で宣言されたもので、本のおさを再確認し親近感を育むことを目的としている、と言われます。「サン・ジョルディの日」は、スペイン・カタールニャ地方のサン・ジョルディ伝説をもとにしており、王女を救った伝説の騎士サン・ジョルディを愛の守護聖人として讃えます。4月23日は彼の殉教した日です。西洋ではこの日に、愛する男性に本を、愛する女性に花を贈る、という習慣があります。

また4月23日は、セルバンテス(『ドン・キホーテ』作者)、『ドン・キホーテ』は、聖書に次いで世界で二番目に読まれている本(とシエイクスピア)『ハムレット』『リア王』の作者の命日でもあります(日本書店組合連合会「本屋さんへ行く」11「なまじか」)。

この「子ども読書の日」にちなんで、全国各地の図書館では様々な活動が行われています。本校でも、全校生徒を対象にアンケートを実施し、読書の啓発に努めたいと思います。

松山西中等教育学校生の

「私の薦める一冊の本」のアンケートの実施について

○目的

「子ども読書の日」(4月23日)に関連して、全校生徒のみなさんが参加する形で読書についての意識啓発を行います。

○内容

「私の薦める一冊の本」のアンケートの実施。対象は1〜6年生全員。

○方法

「私の薦める一冊の本」を記入します。図書委員が集計し、結果(各学年10位以内など)を「らいぶらりNEWS」などで発表します。

○注意

友だちにぜひ読んでもらいたい「この一冊」を選んでください。文学に限りません。評論・伝記・科学読み物などでも構いません。

○参考

本校では毎年、この企画を実施しています。他校でも同様の企画を実施している場合があります。

生徒のみなさんは薦める本を考えておいてください。ご協力をお願いします。



朝の読書について

愛媛県立松山西中等教育学校は、すべての学年で朝の読書を実施します。

○時間は8時20分〜8時30分まで。

○生徒は早めに登校し、教室の自分の席に座って、

8時20分〜8時30分の10分間、各自好きな本を黙って読む。感想などは求めない。

○読む本は、各自好きな本を家から持ってくる。自分を高めてくれる本なら何でもよい。図書館の本でもよい。学級文庫の中の本でもよい。文学・物語でもよいがそれに限らない。人文学・自然学・社会学など何でもよい。ただし、漫画・雑誌・教科書・参考書・問題集・辞書・生徒手帳・パンフレットなどの類は不可とする。

○教師が交代で廊下監督をする。

○生徒諸君は朝の読書の趣旨を十分理解し、日々実践することができるとはなりません。

○部活動の朝練習などは早めに終え、全員朝読書に間に合うようにする。

○朝清掃・調理実習の準備などの場合はそれを優先してよいが、移動・入室の際は静かにする。

*朝の読書は朝礼・運動会など、朝からグラウンド集合などで朝の読書ができない日、定期考査当日などを除き、原則として毎日行います。

*与えられた宿題などをこなすだけでは勉強として足りません。自分の進みたい学部・学問に関する新書本などを自分で見つけどんどん読めば、勉強(学問)が進み、かつ、進路意識も高まります。自分で本を見つけてきて自分で学ぶ姿勢が大事です。校訓に「自学」とあります。

*朝の読書で集中して読書する習慣をつけると読む速度が増し、大入試センターの問題(かなり長文です)などの入試の長文を時間内に読めるようになる、というメリットもあります。

